

西宮ロット・エ・ガロンヌ交流市民の会

2011年6月15日発行 Vol.93

発行者：会長 森田正樹 編集：広報部

平成23年度の抱負

会長 森田 正樹



先日の総会で会長に再任されました森田です。

総会では会の運営などについて様々なご意見がありましたが、会員のみなさんは仕事や家事そして多くの趣味ややりたいことが山ほどある中で、貴重な自分の時間を割いて、「NL e G市民の会」の活動に、できる範囲で参加していただいていると思います。それでも何かをやらうとすれば、いつも同じ人に負担がかかってしまっているのも事実です。

この市民の会は、もともとロット・エ・ガロンヌ県とアジャン市を訪問し、その風土とそこに住む人々に惚れ込んだ市民が作ったグループです。そして、ロット・エ・ガロンヌ県とアジャン市の魅力をもっと多くの人に知ってもらい、また西宮の魅力を手伝いに伝え、相互の市民が交流し、文化理解を深めるために、それぞれが興味のある分野で、出来ることをやろうというものです。

ですから、世話人と金庫番がいれば運営もできるのですが、より多くの市民に開かれた団体にするため会則、役員ももうけました。はじめに組織ありきではありません。

今後も組織維持の論議ではなく、何をやるのか、何ができるのかを話し合っていきたいと思えます。

さて、いよいよ来年は、ロット・エ・ガロンヌ県とアジャン市と西宮市の友好都市提携20周年です。市民の会としては毎年何らかの交流事業を行ってききましたが、市レベルでは10年刻みの周年事業がメインになります。市主催の相互の友好訪問団の派遣等が予定されていますが、それを軸に市民の会も交流を深める事業を行いたいと思っています。その際には、みなさんそれぞれ得意の分野で参画・参加してください。



平成23年度総会

新役員・事業計画・予算を議決しました

5月22日(日)午後2時からフレンテ4階西宮市国際交流協会会議室で、平成23年度(第13回)総会が開催されました。

総会は、会員76名中、出席者34名・委任状22名・計56名で成立。議長に川野謙一さんを選出して、22年度事業報告・決算報告・監査報告のあと役員改選を行いました。



23年度の役員に次の方々を選出しました。

会長 森田正樹(再) 事務局長 佐藤祥子(再) 事務局次長 槇尾裕美子(新)
会計 鈴木英夫(新) 会計監査 武居 精(新)
幹事 総務部 川野謙一
美術部 森田正樹 越智 強 岡田順子 武居 精
仏語部 槇尾裕美子 田中晴子
広報部 池田壱和

続いて23年度事業計画と予算案が提案され、いずれも拍手で議決されました。

事業計画としては、毎月の定例会・会報発行、仏語部講演会の隔月定例開催のほか、秋の日帰りスケッチ旅行、12月の忘年会、来年2月の国際交流デーなどを行うことになりました。

23年度予算は次のとおりです。

収入	会費	164、000円	国際交流協会から	50、000円
	繰越金	283、692円	その他	20、100円
			合計	517、792円
支出	事業費	70、000円	美術・仏語補助金	40、000円
	交通費	48、000円	広報活動費	80、000円
	会議費	15、000円	交際事務費	15、000円
			合計	268、000円
			24年度繰越	249、792円

*総会に欠席の方で、平成23年度年会費が未納の方は¥2000を下記口座までお振込みください。

兵庫六甲農業協同組合 西宮支店 普通 店番号7213-043

口座番号：0039848 口座名義：NL e G市民の会 会長 森田正樹

総会は1時間半に及びました

昨年に続いて今年の総会も約1時間半の間、緊張した雰囲気での総会でした。議論の一部をご紹介します。

ある会員さんから次のような発言がありました。

- 「定例会が水曜日じゃなく、土日に行われたら参加できるのだが」
- 「会費は前年度末までに払うべきではないか」
- 「役員の半数は新しい役員に入れ替えるよう、制度化したらどうか」



これに対して、次のような発言がありました。

- 「定例会は、役員に選ばれた人が出席しやすい曜日にするのがいい」
- 「会則の趣旨は、その年度の会費はその年度に払うことになっている」
- 「役員に新しい人がなってもらうのは大変いいことだ。しかし現実はきびしい。半数入替えを固定するような制度化は市民の会に馴染まない」

総会終了後、出席会員さんたちからは、「前はもっとなごやかな総会だったのに」「株主総会みたいで嫌ね」などの感想が寄せられました。



来年の20周年記念に向けて

盛り上がった懇親会



総会終了後、1000円会費で懇親会が開催されました。

会員の土屋さんと総会当日入会された北上さん差し入れのワインで乾杯したあと、36名の参加者たちは和気あいあいと会員さん同志の会話を弾ませました。フリアンドさんのパン、ロッテガロンヌ商会さんからアジャンのプルーンの差し入れをありがとうございました。

昨年～今年に入会された新しい会員さんたちも自然に懇親会に溶け込み、来賓の須藤秘書国際課長や市会議員に返り咲かれた八木会員さんも楽しそうに交流を深めておられました。

特に多かった話題は、来年の20周年記念事業のことです。来年4月にフランスから訪日団が来られる時のお世話のこと、そしていつ西宮からフランスを訪問するの？と、話題に花が咲きました。

最後に、会長の森田さんから「さあ、今年も楽しく市民の会活動を頑張りましょう！そして来年の20周年記念の成功を！」との挨拶で、和やかな懇親会をお開きしました。

(池田 壱和)



会員の藤枝知子さんのご投稿「フランス事情」。楽しみにされている会員さんも多いのではないのでしょうか。今号は、ジューンブライドにちなんで...



「結婚 Mariage」

日本にもジューンブライドという英語を聞きますが、6月といえば、フランスでは一番結婚式の多い月ではないでしょうか。

その理由は諸説ありますが、梅雨時期の日本と打って変わって、ヨーロッパでは一番雨が少なく、また日が長く、実に気候が良い月だということが大きな理由だそうです。また、実感としては特にフランスでは7月、8月の夏休みはバカンスでみな出掛けてしまい、出席される方の確保が難しいからだと推察します。(夏のバカンス計画は半年前までには決まっている人が多いのです...)勿論、9月でもよいのですが、日本と違い急速に涼しくなり(むしろ寒く感じることもあります...)、秋から冬の予感すら忍び寄り、次のバカンスまで気分の引き締まる季節より、夏のバカンス前の少し浮かれた楽しい気分で過ごせる6月が最も盛り上がりやすい月と言えます。

フランスでは事実婚(PACS)が多いのですが、事実婚を選択している女性でも、ウエディングドレスを着てみたいという、思いはあるようです。結婚式当日の花嫁は、日本のように披露宴などで衣装を代えることなく、ウエディングドレスで一日を過ごします。



そして、この一日はとても長いのです。必ずするのが、市役所での結婚式です。トリコロールカラーのたすきをかけた市長が、式を執り行い親族&友人が見守る中、誓いをたて、沢山の結婚書類に新郎新婦はサインしていきます。証人もサインします。

そして、希望すれば次は宗教婚で、カトリックの場合は、市役所から教会へ移動します。これは日本の教会式と同じような要領で進みますが、日本のホテル内の教会とは違い、歌う賛美歌も知らない曲ばかりです。また頻繁に起立着席が多く、外国人である私達家族には知り合いのフランス人列席者がさりげなく目で合図(今、立つのよ!)をしてくれたりしました。式の終わりは普通のミサのように、お布施の籠が回ってくるので、小銭の準備も大切です。

教会の外で新郎新婦にフラワーシャワーをして宗教式の最後を締めくくります。

そして、場所を少し変えて夕方からカクテルパーティーが始まります。場所はお好みで、公民館・個人の家・城・レストランと様々です。どの場所もアイデアとセンスが光る飾りつけで彩られています。





お祝いは"リスト・ド・マリアージュ"という新郎新婦が欲しい物のリストを事前にチェックして、名前を書き込み、該当商品のお金を支払う方法があります。既に長く同居生活をしていて新居に必要なものがない場合は、新婚旅行代金のカンパなどが一般的かもしれません。

"リスト・ド・マリアージュ"に参加しない場合は、カクテルパーティや披露宴会場に、直接お祝いの品(ちょっと高級なワイン、インテリア、観葉植物など。食事代に相当する額で...)を持ち込む人もいます。

カクテルパーティは立食&軽食ですが、多くの人談笑し気分はかなり盛り上がります。

数時間後にカクテルパーティは終了し、親族&親しい友人は披露宴(席について食事を頂く)へ移行します。

夜の9時くらいから、前菜が出て、0時くらいに食事自体は終わりますが、その頃にはみなさん宴の盛り上がりは最高潮となり、老いも若きもダンスです。夜中の2時くらいから帰宅者も出始めますが、朝方まで騒いでる人もいて、花嫁さんは24時間近く眠れないかもしれません。



招待客は新郎新婦との関係&好みのスタイルにより、どこから出席するか決まります(新郎新婦よりお願いされます)。市役所から全部出席する人、カクテルパーティにだけ参加の人...と日本よりずっと自由な感じです。



もし、みなさんのお子さんがフランス人とフランスで伝統的な結婚式を計画されたら、すぐに体力増強をはかってくださいね。ご両親も正装して、市役所に始まり翌朝まで続く披露宴まで頑張らねばなりません。



聞くとところによると、伝統的な(今は一般的ではないらしい)フランスの結婚式は、まだ続きがあるようです。朝方、新婚の二人が引き揚げた部屋を親しい友人たちが探し出し(どこにいるか知っているそうですが、古い儀式?慣習?だそうで。)壺に入れた見た目の悪い食べ物(おまるに見立てた容器にシャンパンやチョコレート、バナナなどを混ぜた茶色い食べモノを入れてるらしいです。ちょっと悪趣味な気が...)を新郎新婦に食べてもらうそうです。

そして少し休憩して(眠って?)、親族と親しい人たちで昼食(!)を頂いて、これで結婚パーティは完成するとのことです。

新郎新婦とその家族は体力勝負ですね!フランス人は人生を楽しむためにエネルギーを惜しまないようです。

(藤枝 知子)

絵画部でご活躍されている会員の越智強さんに、スケッチとともに近況をご投稿いただきました。



「長生き」



ごぶさたいたしております。去年まで絵画部（現美術部）の担当をしておりました“おちつよし”です。その節は色々ご配慮を頂きましたが、現在は食道癌・前立腺癌・胃癌などのおつきあいで日々を紛らわせております。「三病息災」などと茶化しながらも、幸い至極快適に過ごしておりますので御放念ください。

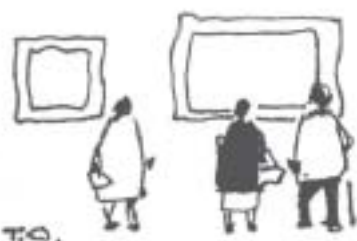
近況を申し上げますと、今年は、春先のラ・イン会展（兵庫県民アートギャラリー）、4月のアジャンスケッチ旅行会作品展（西宮北口ギャラリー）、この日の洋展（東京国立新美術館）、そして6月に予定された昔の勤め先の社友会ロビーでのミニ個展等々スローライフを忙しく楽しんでおります。

先日は、NLEG総会の懇親会で、〇〇さんから「絵をかく人は長生きする」とのお墨付きを頂きました。こちらから「近頃は難聴で困っている」と訴えましたところ、今度はそばに居た さんから「耳の遠い人は長生きする」とこれも太鼓判を頂戴しました。嬉しいような悲しいような。そのように、ひとさまの二倍も長生きしてしまったら、「うちのカミさんが可哀相」と心配したり気の毒がったりの今日この頃です。

えらそうに、絵を描いていると吹聴するからには、最低限、(1)構図(2)デッサン(3)色調(4)明暗(5)マチュール(6)詩情(7)格調ぐらひは脱線のないようにと、いつも自分に言い聞かせてはありますが、結果はいつも“絵そらごと”の域を出ず、恥じ入るばかりです。

懺悔のしるしに、西宮の小咄（こばなし）「長生き」の一席を申し上げます。

「先生、僕は長生きしたいんですが、どうすれば100歳くらいまで生きられるでしょうか？」「では聞くが、酒は？」「全く下戸です。」「賭け事は？」「バクチは一切やりません。」「女は？」「妻以外の女性にはとんと興味がありません。」「それではあんた、何も100歳まで生きることはないでしょうが！」「……。」



来年の第15回アジャンスケッチ旅行会作品展、またガン張りましょう。

（越智 強）

越智さんが「日洋展」に初入選！

越智さん、初出品・初入選おめでとう。

入選された作品は、今は廃墟になっている大阪築港の赤煉瓦倉庫を描かれた「夢の跡」（油絵、F100号）だそうです。

日洋展（5月25日～6月6日、国立新美術館）は終わってしまいましたが、日洋展巡回展が8月2日（火）～7日（日）に大阪市立美術館（天王寺）で行われます。

丁度同時期・同会場で「創元展」があり、岡田順子さんと小生の作品も展示されます。

NLeGの皆さま、ぜひ、8月には両展へ足をお運びください。

*両展とも日展系の古くからの全国組織の美術団体です。

（武居 精）

新入会員

○北上 貴子さん

大藤さんの紹介で総会当日入会していただきました。早速、懇親会にワインを提供していただきました。ありがとうございます。今後のご活躍を期待します。

退会会員

○松下 桜子さん

永年、広報部員としてご活躍いただいていた松下さんですが、3人目の子どもさんの出産を控えられ、また、昨年ホームページ掲示板への書込みに管理者として心労されたこともあり、この度、残念ながら退会されることとなりました。

(以下は、松下さんへのメッセージです。)

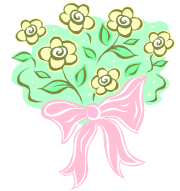
1996年にまだ独身で20代も半ばの桜子さんたちと、私もはじめてLeGに行きました。忘れられない楽しい思い出です。

あれから15年もたってしまいました。

桜子さんはステキなお母さんになられ、私はお母さんをほぼ卒業してしまいました。時は流れてゆきますが、共有した思い出はなくなりません。

今回NLeGは退会されることになりましたが、無事3人目の子供さんを出産されたら、またお花見したり、わいわいと楽しい時間が持てるといいなと思います。御近況は知らせてくださいね。

今まで、ご主人ともども、NLeGのHP管理本当にありがとうございました。(佐藤 祥子)



INFORMATION

広報部よりお知らせ

2006年1月にホームページを立ち上げて6年目。その間、ずっとHPの管理者を務めていただいた広報部員：松下さんが退会されました。後任者の選任に悩んでいます。

当分の間、ホームページの掲示板は閉じさせていただきます。会報のアップ作業だけは、後任管理者が決まるまでの間、松下さんには無理をお願いして退会後も暫く続けていただけるとなりました。松下さんのご好意に感謝します。

ITに堪能な会員さんがいらっしゃればHPの管理をお願いしたいので、ぜひお申し出ください。お待ちしております。

7月定例会のお知らせ

7月定例会は、7月20日(水)午前10時からフレンテ4階会議室で行います。

なお、8月定例会及び会報8月号は、夏休みとさせていただきます。

< 編集後記 >

藤枝さんの原稿を読ませていただき、ステファニーの結婚式で訪れたネラックの荘厳な教会、なだらかに続く丘陵地にポツンとたたずむレストランでの披露パーティ(まさに明け方まで!)を思い出しました。ロット・エ・ガロンヌの豊かな人、風景、食...その魅力にあらためて思いをはせました。(池本)。